

令和6年11月8日

地方創生テレワークアワード（地方創生担当大臣賞）の受賞について  
～ 自治体単独としては全国初 ～

本市は、2024（令和6）年度地方創生テレワークアワード（地方創生担当大臣賞）を自治体単独としては全国で初めて受賞することとなりました。

本賞は「地方創生テレワーク」に関する優れた企業・団体・自治体の取組を表彰・周知するために内閣府が創設した制度です。

本市は、令和2年8月に富士市デジタル変革宣言の中でテレワーク先進都市の実現を目指すことを表明し、これまでテレワークに関する様々な施策を着実に展開してきたことが評価されました。

なお、表彰式は下記の通り、テレワークに関する施策を実施している内閣府・総務省・厚生労働省等の府省が合同で開催するイベント内で実施されます。

記

- 1 イベント名 令和6年度「働く、を変える」テレワークイベント
- 2 開催日時 令和6年11月25日（月）  
第一部 表彰式／午後1時00分～午後2時00分（予定）  
第二部 受賞企業による取組発表等／  
午後2時15分～午後4時30分（予定）
- 3 開催場所 御茶ノ水ソラシティ 2Fホール  
（東京都千代田区神田駿河台4丁目6）  
※オンラインでの視聴も可能。
- 4 主 催 内閣府、総務省、厚生労働省、経済産業省及び国土交通省

問合せ

産業交流部産業支援課地域産業支援センター

電話／0545-52-6777

FAX／0545-52-6788

e-mail／sa-shien@div.city.fuji.shizuoka.jp



「はたらく」の側に、いつも富士市。

## ● 地方創生テレワークアワード（地方創生担当大臣賞）とは ●

「地方創生テレワークアワード（地方創生担当大臣賞）」は、地方の課題解決（人口流出、雇用者数の減少、その他地域が抱える経済・社会的な課題）及び自社等の経営課題解決の双方に資する地方でのテレワーク（サテライトオフィスの設置、地方でのワーケーション、リモートワークの実施等）である「地方創生テレワーク」を推進し、優れた取組を行う企業・団体・自治体を表彰するために、令和3年度に創設された制度。また、表彰対象となった企業・団体と密に連携した取組を実施している自治体を表彰する連携パートナー賞も設けられている。

令和5年度からは「地域課題解決プロジェクト参画」部門、「離職防止、地方人材の採用・育成、ワーケーション推進」部門、「地方創生テレワーク促進支援」部門の3つの部門別表彰となった。このうち、「地方創生テレワーク促進支援」部門については、自治体単独での応募が可能となった（令和5年度は自治体単独での受賞者なし）。

令和6年度に「地方創生テレワーク促進支援」部門において、自治体としては本市が全国で初めて受賞（企業の連携パートナーとしての受賞は、令和3年度の本市を含めて事例あり）。

※本市は令和3年度コニカミノルタジャパン(株)の連携パートナー自治体として表彰されている。

## ● 受賞のポイント ●

- ・ 首都圏企業やワーカーの呼び込み、採用のDX化など確実に進化を遂げていること。
- ・ 新富士駅シェアオフィスは、好立地のスペースを存分に生かした内容となっていること。
- ・ 交流会の実施等において、地域内外の接点の場としても多くの機会が作られており、理想的であること。
- ・ 全般的に取組内容はオーソドックスではあるが、基礎を丁寧にしっかりやっていること。



## ● 本市における主なテレワーク推進施策 ●

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「テレワーク推進ロードマップ」を策定し、令和3～7年度の実施すべき施策とKPIを設定。</li> <li>・民間コワーキングスペース整備に対する補助を実施（令和3年度までに5施設）。</li> </ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元佐賀県最高情報統括監の森本登志男氏が「富士市テレワーク（DX）推進アドバイザー」に就任（令和5年度まで）。</li> <li>・富士市中小企業等振興会議に「テレワーク推進部会」を設置。</li> <li>・テレワーク実践会議室を設置し、テレワークに関する相談やセミナーをコニカミノルタ静岡(株)協力のもと開始。</li> </ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク推進施策に関するコンセプト”「はたらく」の側に、いつも富士市。“を設定し、ウェブサイトや Facebook の運用を開始。</li> <li>・交流会（富士市及び東京）やモニターツアーを実施し、首都圏企業・ワーカーのサテライトオフィス誘致を開始。</li> <li>・新富士駅シェアオフィス「WORX新富士」を設置。</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WORX新富士に進出した企業とともに、教育DXの実証や副業・兼業ワーカーの誘致事業を実施。</li> <li>・ワーケーションの誘致イベントを六本木ヒルズで開催。</li> <li>・モデルオフィスの機能も兼ねて、市庁舎5階フロアの一部をフリーアドレス化。</li> <li>・首都圏からのサテライトオフィス誘致を促進させるために、「サテライトオフィス体験補助金」を創設。</li> </ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業のフリーアドレス化を促進するため、「テレワーク推進フリーアドレス化支援補助金」を創設。</li> <li>・市外企業のワーケーション誘致を促進するため、「富士市宿泊業緊急対策研修型ワーケーション補助金」を創設。</li> <li>・WORX新富士に進出した企業とともに、市内企業の採用方法のDX化支援を実施。</li> </ul>



## ● 表彰式について ●

表彰式は令和6年度「働く、を変える」テレワークイベントの中で実施。  
なお当日は、各府省の以下の各賞についての表彰が行われる。

- ・内閣府 「地方創生テレワークアワード（地方創生担当大臣賞）」
- ・厚生労働省「テレワーク推進企業等厚生労働大臣表彰（輝くテレワーク賞）」
- ・総務省「テレワークトップランナー 2024 総務大臣賞」

また、各受賞者の取組内容の発表も行われ、本市もこれまでのテレワーク推進施策に関する取組について発表を行う予定。

